

はじめに

新型コロナウイルスとSDGs・・・予想を超える、急速な世界各地への広がり、経済活動への影響大。課題の連鎖・・・自然災害の負の連鎖、豪雨や猛暑による農作物への影響、気候変動による気象異常！課題の連鎖から格差の拡大へ・・・経済格差から男女格差等が、感染症や自然災害で、後回しになる。創発・・・個々の部分部分が集まり、複雑に組織化される事で、新たな秩序やシステムが生まれる。経済・社会・環境の問題があり、カネ・ヒト・地球の問題となる。総合的に考えて行動し、解決して行く。SDGsへ寄せる希望・・・課題が相互に関係しており、その解決のため、SDGsが可能性を持つ。

第1章 SDGsとは何か

1. SDGsのアウトライン・・・SDGsとは、未来の世界のかたちである。すべての国連加盟国によって合意されている意味は大きい。17の目標と、169のターゲット、重要な理念は、「世界を変革する」「だれ一人取り残されない」と、5原則；人間・地球・繁栄・平和・パートナーシップである。
2. SDGsの特徴・・・仕組みがあり(脱使い捨てプラスチックへの取り組み等)、測り(共通指標で、進捗を測って評価する)、総合性を持つ(文化や芸術を含まないが、ほぼ包括的な目標となっている)。

第2章 SDGsが実現する経済、社会、環境の統合

1. 国連と持続可能な開発 ーストックホルム(1972年)からリオ(1992年)、そしてSDGs(2015年)へー以前は、環境問題への提起はあったが、経済成長との関係が不十分であった。それが、環境の議論と開発の議論が一つになった。2002年のヨハネスブルグ・サミットから、経済・社会・環境の3側面での持続可能性に注目され始めた。
2. SDGsが実現した「経済」「社会」「環境」の統合への策定プロセスが2013年から始まった。外交交渉で実現させるのではなく、専門家の意見を聞き、本当の課題を明らかにして詰めて行った。

第3章 SDGsの全貌・・・目標とターゲットは夫々独立しているのではなく、相互に関連している。

目標1；あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困を終わらせる【貧困をなくそう】

目標2；飢餓を終わらせ、食料の安定確保と栄養状態の改善を実現し、持続可能な農業を促進する【飢餓をゼロに】

目標3；あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確実にし、福祉を推進する【すべてのひとに健康と福祉を】

目標4；すべての人々に、だれもが受けられる公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する【質の高い教育をみんなに】

目標5；ジェンダー平等を達成し、全ての女性・少女のエンパワーメントを行う【ジェンダー平等を実現しよう】

目標6；すべての人々が水と衛生施設を利用できるようにし、持続可能な水・衛生施設を確実にする【安全な水とトイレを世界中に】

目標7；すべての人々が、手ごろな価格で信頼性の高い持続可能で現代的なエネルギーを利用できるようにする【エネルギーをみんなに、そしてクリーンに】

目標8；すべての人々にとって、持続的でだれも排除しない持続可能な経済成長、完全かつ生産的な雇用、働きがいのある人間的な仕事(ディーセント・ワーク)を促進する【働きがいも、経済成長も】

目標9；レジリエントなインフラを構築し、だれもが参画できる持続可能な産業化を促進し、イノベーションを推進する【産業と技術革新の基盤をつくろう】

目標10；国内および各国間の不平等を減らす【人や国の不平等をなくそう】

目標11；都市や人間の居住地をだれも排除せず安全かつレジリエントで持続可能にする【住み続けられるまちづくりを】

目標12；持続可能な消費・生産形態を確実にする【つくる責任つかう責任】

目標13；気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を実施する【気候変動に具体的な対策を】

目標14；持続可能な開発のために、海洋や海洋資源を保全し持続可能な形で利用する【海の豊かさを】守ろう】

目標15；陸の生態系を保護・回復するとともに持続可能な利用を促進し、持続可能な森林管理を行い、砂漠化を食い止め、土地劣化を阻止・回復し、生物多様性の損失を止める【緑の豊かさを守ろう】

目標16；持続可能な開発のための平和でだれをも受け入れる社会を促進し、すべての人々が司法を利用できるようにし、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任がありだれも排除しないしくみを構築する【平和と公正をすべての人へ】

目標17；実施手段を強化し、「持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップ」を活性化する【パートナーシップで目標を達成しよう】

第4章 企業はSDGsにどう取り組むべきか

1. なぜ企業がSDGsか？・・・社会的課題を解決する事が、企業価値を上げる事になる。
2. 経営理念とSDGs・・・売り手・買い手・世間よしに加えて未来よしの「四方よし」の精神
3. SDGsを活用したマッピングへ・・・事業とSDGsの関係付けを行い、示して行く
4. 未来からのビジネス・・・「広げるSDGs」「深めるSDGs」による新たなビジネスへの事例を示す。
5. SDGs金融と企業行動の計測・・・投資額も、この5年間で、1兆円弱から300兆を越すまで増加。

第5章 自治体におけるSDGsの取り組みと課題・・・内閣府の地方創生の旗振りにより、進んだ。

1. SDGs未来都市・・・2018年から、地域活性化のために始まった「未来都市」政策である。
2. 地方創生SDGs金融と自治体の役割・・・SDGsへ貢献する企業への地方自治体の支援が進む。
3. 自治体におけるSDGsの機会と課題・・・認知度向上のために、モデル事業の提示や仕組み作り。

第6章 皆の目標としてのSDGsへ

1. 国連の取り組み・・・ハイレベル政治フォーラムにより、進捗を見ている。国別自主的レビュー実施
2. 日本政府の取り組み・・・2016年にSDGs推進本部を設置、「SDGs実施指針」の策定を行った。
3. 研究教育界、若者、そしてその先へ・・・キャンパスから発信、中高生や小学生にも展開。研究深堀
4. 他国の取り組み・・・欧州は法規制を含めた積極的な取り組みを行っている。日本の一層の加速を！

第7章 SDGsのこれから -ポスト・コロナの世界の道しるべ-

1. 「自分ごと」としてのSDGs・・・住宅作りでのSDGsの実現の事例あり。木材や窓枠、DIY等々。
2. 新型コロナウイルスの影響・・・2020年に起ったCOVID-19によるSDGsの目標達成への影響は大きいものがある。貧困や教育、ジェンダー、水と衛生、エネルギー等々の目標達成が、数年以上遅れる可能性がある。

あとがき

SDGsを達成し、子供たちの未来に希望を持たせたい。
著者紹介；国連持続可能な開発会議日本政府代表団顧問、日本政府SDGs推進本部円卓会議委員等のSDGs関連を中心に多くの政府委員を務める。国内外での講演多数、著書多数あり。
巻末には、目標とターゲットの訳文全文が記載されている。

